



でらボラ

NAGOYA

通信

2015. 1 vol.1

ご支援、
ありがとうございます！

真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク 発行

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん（毎月12日）」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋

これからの活動予定

【続・東北の仮設住宅などを訪問ツアー〈北條チーム〉】

日時 2015年1月23～26日

場所 福島県、宮城県の各地（仮設住宅ほか）

内容 福島県の仮設住宅での生活を余儀なくされている方々をはじめとして、いろんな方々の声を聞かせていただきます。

※以下の写真は、北條チームの前回（2014年1月）の様子です。



最近の活動報告

【福島と名古屋をむすぶ子ども会 in 東別院】

今回で4回目となった、福島県二本松市の「同朋幼稚園」の園児と保護者のみなさんをお迎えしてのホームステイ事業。「放射能を気にせず、名古屋で遊ぼう」という趣旨で、東西の別院や、名古屋大谷高校の高校生、真宗大谷派の僧侶や門徒、お庫裡さん、もちろん本会も全面協力し、福島の子どもたちと生活し、遊びました。

本会では、この事業に全面協力いたしました。日程の中で「豚汁」を振る舞わせていただきましたのでご報告させていただきます。

「福島と名古屋をむすぶ子ども会 in 東別院」での豚汁の提供

2014年12月23日、福島と名古屋をむすぶ子ども会と名古屋別院の子ども報恩講にあわせ、別院境内でお餅つきと豚汁を振る舞わせていただきました。「でらぼう」からは豚汁を約400人分調理し、提供させていただきました。



当日は天気も良く、子どもたちは楽しそうに境内を走り回っていました。風が強く少し肌寒いなかで、お餅と豚汁を美味しそうに食べている親子の姿を見ていると、こちらもほっこり温まるような気がしました。皆さんに豚汁をお配りしているうちに、またたく間に300人前が残りわずかに…。あらかじめ用意しておいた約100人前を追加して、皆さんに満足していただけたようでした。

その日の晩に、福島からみえたお母さんや、幼稚園の先生から、「豚汁美味しかったよ～」と声をかけていただきました。また「いつもは遠慮しておかわりできなかつたりで、お腹いっぱい食べられなかったけれど、今年はおかげさまでお腹いっぱい食べられました」という声もいただきました。おかわりをたくさんしてくれる子どもやお母さんの嬉しそうなお顔を見て、こちらも嬉しくなりました。おかわりを遠慮なくしていただける場の雰囲気というのも、大切なのだと学びました。

毎年この時期は風邪やインフルエンザなどの流行があり、衛生的にも十分注意していましたが、残念ながら、何人かの子どもさんがインフルエンザで倒れてしまい、予定より早く皆さん福島に帰られました。お見送りの時のさみしさを、また会えた時の嬉しさに変えていきたいです。

田島 晶